

議会 だより

「学園9年生が村づくりの思いを議会へ提案」

生徒15人が村長、課長の立場となり、模擬議会を開催しました。
「白川村をこうしたい!」と政策を提案し議員と意見を交わしました。

(10ページをご覧ください)



CONTENTS

新年のご挨拶	2	9年生の議会提案活動	10
第4回議会定例会	3	10年後の自分へ	14
第5回議会臨時会	4	第5回総務産業常任委員会	14
第4回議会定例会 一般質問	5	議会探検隊募集	14
議会の行事結果	5・6・8		
村へ「提言書」を提出	9		

第31号

令和3年1月12日
発行

白川村
shirakawa village



白川村議会 議長
大田 貢

村民の皆さん、明けましておめでとうございます。希望に満ちた新春をお迎えのことと、お慶び申しあげます。また、日頃は行政・議会運営につきまして、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。昨年は、新型コロナウイルス感染症に脅かされた一年でありました。感染症で、お亡くなりになられました方々にお悔やみ申し上げ、一刻も早く完璧なワクチンが完成しコロナウイルス感染が収まるよう願っております。7月の豪雨災害では、熊本県を中心に九州やお隣高山市、下呂市に甚大な被害をもたらせました。被害に遭われました方々にお見舞い申し上げ一日も早い復旧を願っております。また、9月には突然の安倍首相退陣により菅内閣が誕生致しました。菅総理大臣にはしっかりと日本の舵取りをお願いしたいと思います。迎えます2021年は丑年であります。牛は古くから酪農や農業で人々を助けてくれた大切な家畜で大変な農作業を最後まで手伝ってくれる働きぶりから、丑年は「我慢（耐える）」、「これから発展する前触れ（芽が出る）」というような年となるといわれています。

今年が素晴らしい希望に満ちた年になりますようお祈り致します。我が白川村においては、東海北陸自動車道の早期の全線四車線化・国道156号線の改良が早期に成就するよう努力してまいります。また、地域に根ざした養豚事業が昨年より始まり新たな6次産業化による村の経済循環に期待をしたいと思います。令和2年にスタートしました白川村第2次総合戦略・いつまでも住み続けたい村づくりマスタートップラン「人口は維持以上を目指し、持続可能な村を創る」ことを目標に、いつまでも住み続けたいと思える村・住んでいてよかったと思える村づくりに邁進すべく、地域・行政・議会が一丸となり様々な困難を乗り越え、その辺のものとに築き上げた豊かな地域性を十分いかし全村民が安心して暮らせることを目指し取り組んでいきたいと思います。また、私たち議会は村民の民意を反映し行政をチェックしていくことが責務でありその役割を重く自覚し、決意も新たに行政発展に全力で尽くしていくので一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、村民の皆さんにとって、この一年がすばらしい年になりますよう心からお祈り申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。



白川村議会 副議長
高桑 徹司

明けましておめでとうございます。昨年より続いておりますコロナ感染症における対策では、村民皆様の高い衛生意識のもと、大きなクラスターを起こすことなく送る事が出来ました。迎える令和3年も一層のご理解とご協力を頂き、安心安全な村づくりに共に邁進して参りたいと存じます。このご挨拶を書く時点で、新しい過疎対策法は決まっておりません。この法律の枠組みから外れると、通常過疎債と呼ばれる借入金

が目減りとなり、土木建設工事ばかりではなく、高齢者の外出支援や緊急通報サービス、スクールバス事業において財源不足の事態を招きます。コロナ禍の中、成原村長は精力的に陳情活動を続けてくれました。私たち議会も、村民の声を届けるべく要望陳情を行って参ります。特に今年は、その声の届け先である岐阜県知事選挙と衆議院議員選挙が予定されています。私は、これまでの議員活動の中で、政治に対して高い関心度を示すものが投票率であると確信しております。岐阜県下1位の投票率を目指し、皆様のお力を借りて共に村づくりをしましょう。

第4回議会定例会は、令和2年12月8日(火)から12月14日(月)の会期で開催し、岐阜県後期高齢者医療広域連合の議員選挙のほか、条例の制定・改正、補正予算等について慎重に審議し原案のとおり可決しました。

◆第4回議会定例会◆

●選挙(1件)

◎岐阜県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙

▶成原村長が11月1日付けで岐阜県後期高齢者医療広域連合副連合長に選任されたため、広域連合規約により村から2名の広域連合議会議員を選任する必要があります。指名推薦の結果、次の者を決定しました。

広域連合議会議員（任期2年）

板谷 孝明 氏
大田 貢 氏

●意見書の提出(1件)

◎防災・減災・国土強靭化対策の継続・拡充を求める意見書の提出について

▶近年、東日本台風や7月豪雨など、全国各地で自然災害が猛威を振るい、いつどこで大規模な災害が起きてもおかしくない時代です。村内においても国土強靭化対策を進めるための道路、河川、治山整備事業が行われていますが、現在も喫緊に整備が必要な箇所を多く抱えています。よって、防災、減災、国土強靭化のための緊急対策事業に続く新たな5か年計画の策定と、減災事業や緊急自然災害防止対策事業の延長を要望、それに必要な予算の安定的確保と拡充することを求める意見書を村議会から各関係大臣に対し提出しました。

●条例の制定と改正(5件)

◎白川村議会議員及び白川村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定

(委員会へ付託)

▶公職選挙法の改正に伴い、村議会議員及び村長の選挙における選挙運動用自動車、選

挙運動用のビラ・ポスター等の公費負担に関する村条例を制定しました。公費負担によって、今後の選挙に対する立候補者の負担を減らし、誰もが平等に選挙運動ができる環境を整えます。

◎みだしま農村公園駐車場の設置及び管理に関する条例の制定（委員会へ付託）

▶駐車場の指定管理を行うため村条例を改正しました。村への来訪者に対して、駐車場の確保や渋滞緩和を図り、安全安心な運営管理につなげます。

◎白川村国民健康保険条例の一部改正

▶地方税法の改正にあわせて、国保料の算定に必要な税に関する条文を改正しました。

◎白川村積立基金条例の一部改正

▶小坂勝美氏から500万円の寄付をいただいたことにより、小坂育英資金交付基金を増資する条例改正を行いました。

◎白川村非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正（委員会へ付託）

▶教育委員会委員の報酬について、年額7万円から12万円へ改正を行いました。教育委員の報酬が県内の町村と比較して極めて低いこと、業務が従前と比較して多くなっていることを踏まえ、その妥当性を判断し報酬を増額することに可決しました。

●令和2年度12月補正予算(5件)

◎白川村一般会計補正予算（第5号）

◎白川村国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

◎白川村介護保険特別会計補正予算（第2号）

◎白川村簡易水道特別会計補正予算（第2号）

◎白川村公共下水道特別会計補正予算（第3号）

臨時会 広報 第5回議会臨時会を11月26日(木)に開催。条例の改正について審議し原案のとおり可決しました。

●条例の改正(3件)

- 白川村議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について
- 白川村常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- 白川村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
▶今回の条例改正3件では、人事院勧告に従い、議員、村長他特別職職員、役場職員の期末手当を引き下げる改正を行いました。

第4回 定例会各議案認定のツボを解く

議論と協議を要した議案（補正予算）の一部を紹介します。

◎観光振興課

・「ふるさと納税寄付金」補正予算 総額 3,500万円

当初予算で600万円を歳入計上しておりましたが、寄付金額が多く見込ることから増額補正が可決されました。寄付金の増額にあわせて返礼品に関する歳出予算も増額となりましたが、人気が高い飛騨牛をはじめ、米・食味分析鑑定コンクールで金賞受賞した大田ファームのコシヒカリ、出荷が始まった「結旨豚」など新たな商品開発をすすめ、魅力ある返礼品づくりと更なる寄付金をお願いしたいと思います。寄付をしていただいた皆様ありがとうございます。

・企業誘致政策関連経費 補正額 919万円

アパート誘致に関する用地購入、用地造成費用として補正予算が可決されました。村で飯島地内の用地を取得し造成を行う予定。企業誘致の政策として、造成された用地をすみれリビング社が購入し、住環境の整備・移住定住の促進を目的にアパート建設が行われる予定です。

◆令和2年度 一般会計・特別会計12月補正予算収支状況

(単位：千円)

会計名		補正前の額	今回の補正額	補正後の額
一般会計		4,560,975	31,153	4,592,128
特別会計	介護保険	(サービス事業勘定)	3,433	-
		(保険事業勘定)	256,373	297
		後期高齢者医療	32,038	-
	国民健康保険	(事業勘定)	251,450	-
		(直診勘定)	130,868	-
		簡易水道	71,567	12,000
		温泉開発	25,800	-
		公共下水道	93,800	-
		白弓スキー場	15,767	-
		小計	882,063	12,297
合計		5,443,038	43,450	5,485,521

定例会一般 質問 村政を問う

村民みんなで勉強していきましょう。

Q 高齢者政策の課題と取組について

A 周知の工夫と、将来展望を見据え

部内で協議します



高桑 徹司 議員

Q 過去にも質問をしていますが、最初に自動車運転免許証の自主返納の手続きと実績についてお聞き致します。さて、「スマートフォンを使えるようになりたい。講習会を開けないか?」と、ふれあい懇談会で要望がありました。確かに、あと数年でガラケーと呼ばれる携帯電話が使えなくなるよう、メーカーもスマートフォンへの移行を推奨しているようです。また、一部の個人開業医では、スマートフォンのアプリを使って診療予約を取り入れ推奨されておりまます。運輸業界でも、タクシーの配車予約をはじめとした様々なアプリが日進月歩で開発されております。反面、業者の不手際や事件によって個人情報が裏の世界で広まり、詐欺などの犯罪に利用される心配もあります。私は、スマートフォンを正しく理解して使えるような生涯教育の場を作つて頂きたいと考えます。対象年齢は50歳から60歳代です。私は、高齢者の娘や息子世代がある程度使えたとするなら、診療所の予約システム導入による感染症対策への寄与、移動販売車への個人注文の可能性、学園でも使つたZoomアプリを使った式典や運動会の生配信等、高齢者の皆さんへの一つの楽しみに繋がると考えます。1回や2回で使い方を覚えられるものではありません。だから村の生涯教育政策の一つとして、スマートフォンの講習を取り入れてみては如何でしょうか?また、先程の免許証の自主返納手続きの周知について、広報しらかわへの掲載も必要ですが、文字が小さく読む気になれません。チラシを作つて配布という事は可能でしょうか?見解をお聞かせ下さい。

A 最初に、自動車運転免許証の自主返納の件をお答えします。自主返納については、免許有効期限内に原則本人が出向き取り消しの申請をします。白川村民は、高山警察署なら平日8時30分から16時まで。運転者講習センターは、14時30分から15時となっております。身分証明書として使用できる運転履歴証明書は、手数料1,100円で発行されますが、警察署では3週間程度かかり、運転者講習センターは即日発行となつております。尚、白川村の自

主返納された数は、令和元年が6人。2年が2人となっております。広報しらかわでも周知して参りましたが、見やすさ等の観点も含め、チラシによる周知も検討して参ります。次に、スマートフォンに関する生涯教育の導入について、教育委員会では、iPadの利用機会の広がりから高齢者学級で使い方体験の実施を平成26年に実施しましたが、購入と安くはない利用料を鑑み、議員ご指摘の安全性の担保を考え、講習会の開催は難しいと考えております。議員の質問の「いかまいカー」等の予約や診療所の予約については、現在電話による予約方法が定着してきており、診療所については、議員ご指摘のとおり感染症や急患の対応がスムーズになる等メリットが多く感じておりますが、村民課としては、社会福祉協議会のサロンの中で進められないか検討しております。私としても、アプリを管理する専門職員の導入の必要性や、アプリを通じての1件1件の対応はかえつて負担が増える可能性や料金の高騰から困難であると思いましたが、議員の言われる講習会の設定年齢が50~60歳代で20年後の未来を見据えた政策と捉えるならば、確かに必要性を感じます。関係部局で検討をさせて頂きたいと考えます。講習会については、当面は社会福祉協議会のサロンの中で進めたいと思っております。

(答弁者:成原村長、岩本総務課長、

近藤教育委員会事務局長、鈴口村民課長)

10月行事結果

日曜日	行事	出席者
6 火	自民党勉強会	議長
7 水	岐阜県町村議会議長会定期総会・正副議長研修	正副議長
8 木	議員懇談会	全員
10 土	国会議員との意見交換会	議長
19 月	金子先生報告会	全員
22 木	3市1村議員研修会	全員
27 火	木の日要望対応 例月出納検査	議長 大田議員



坂本 正代 議員

保育園はどう変わるのか!?保護者の気持ちや考えは?

Q 保育士不足の中、2園の運営管理をどうするのか!?

A それぞれの特徴を活かし、就学支援に気を配りながら、保育を行い、2園の機能分割での運営を目指します。

Q 保育の質は、単なる習い事や保護者の利便性だけでなく、青年期になっても保育園の先生に感謝することがあるような様々な原体験を授けてくれる奥の深いものだと思います。また人の子供の成長も見守り、自分の子供の成長も共に見守っていける地域を作るために保育園は2つの地域にあるべきではないかと考えております。

白川村保育園の現在の状況は、保育士不足の中、保護者からの要望も増え運営においても単なる『子供の預け所』でいいのか『養護と教養』をともなうのか幼児教育の面でも問題や課題を抱えていると思います。先日の保護者説明会では、令和3年度から機能分割して運営管理すると聞き、保護者の皆さんの中には、話をする前に決まってる（決定事項）ということに突然過ぎて戸惑いと憤りを感じたと言う声を耳にしました。村は、今後2つの保育園の運営管理をどのように考え方組んでいくのか、お聞かせください。

A 白川村保育園は、国の保育指針に基づき独り立ちや郷土愛を持つ、人間性豊かな子供の育成を目指し就学支援にも努めています。ですが現在十分な保育士の人員確保ができない状況であり、提供できる保育メニューを満足にこなせていない事も事実です。この様な状況の中、地域要望も踏まえ令和3年度以降の機能分割での園の運営管理を進めるべく、保護者や父兄との話し合いを重ねより良い運営を進めてまいります。

（答弁者：飯波保育園長）

A 幼児期の集団生活の中での、体験や学びは大事なことです。村では、保学連携（保小中一貫）ということで学園訪問・交流や2園の合同保育等を行い就学支援に努め、また特別な支援が必要な子供には適切な対応を行うこともしっかりと出来ていると考えております。一番望ましいのは、2園を一つにして白川郷学園の隣りに新園舎を建て学園とつなげるというのが、理想であると考えています。現時点では、保育士不足のなかでの課題の解消と保育園へのニーズに応えるためには2園を機能分割し運営を行うということになります。非常に大きな変化となりますが、何とか皆様にはご理解頂きたいと考えております。

（答弁者：宮丸教育長）

11月行事結果

日	曜日	行 事	出席者
4	水	地方自治連絡協議会	議長
5	木	総務委員会現地視察	全員
10	火	議員懇談会	全員
16	月	ふれあい懇談会（NBK）	全員
17	火	ふれあい懇談会（鳩コミ）	全員
19	木	飛騨市議会視察対応	副議長
20	金	新過疎法制定実現決起大会	議長
23	月	経済文化セミナー	議長
24	火	例月出納検査	大田議員
25	水	町村議会議長全国大会	議長
26	木	中電懇話会 議会運営委員会 第5回議会臨時会	正副議長 全員 全員

私の考える3本柱!!

Q 新過疎法 今後村の財政への影響は?

A 村民の暮らしに必要な財源、制度です



宮部 俊典 議員

新過疎法の制定について

Q 来年度失効となる過疎地域自立促進特別措置法に代わる新過疎法の制定では、白川村は該当から外される可能性があると考えます。村の人口減少率や高齢化率が関係していると聞きますが、仮に該当から外れた場合、今後の村の財政にどの様な影響があるのかお聞かせ下さい。

A 過疎地域の要件として、人口と財政要件がありますが、いま協議されているのは人口要件の減少率の算出基準年の問題で、昭和50年国調では28.96%、55年国調では24.53%であり、どちらの国調を採用するかにより決まりま

す。村としては、国へ何度も要望していましたが12月11日に50年国調の採用の話があり村は過疎指定の継続が決定見込みとなりました。ご質問のもしも過疎枠から外れた場合についてですが、5年間は事業を行うための起債を借りることはできますが、年々借りられる限度額が減り、最終的にはなくなります。交付税算入される財源がなくなることで、今後事業の中止や縮小、延期をしなければいけません。村が合併なんてことにならないためにも、生きていくうえで絶対に欠くことのできない制度です。

(答弁者:水野財政課長)

防犯カメラのフル活用について

Q 防犯カメラ設置の実現に至り、感謝いたします。今後の村民の安心・安全のために、又万一の時に必ず役立つと思います。村内5ヶ所の設置場所を確認させていただきました。その他にも、個別に道の駅、コンビニ等にも付いているという事であります。更に現在では自己防衛のため、車載カメラの導入も多くなっています。そこで今後、防犯カメラの増設、又公用車のドライブレコーダー導入率はどの位なのかお聞かせ下さい。

A 本年度予算において、村内5ヶ所に設置し、11月27日より稼働しています。設置場所は、警察と協議して決定しました。ご質問のカメラの増設については、事故や犯罪の発生、地域・警察からの要望など必要に応じて対応したいと考えます。公用車のドライブレコーダーは29台中20台設置（スクールバス2台含む）69%の設置率となっています。

(答弁者:岩本総務課長)

今後のコロナ対策について

Q 現在、新型コロナの第3波で、日本各地で感染が拡大しています。残念な事に飛騨地方でも感染者が出てしまいました。国のGoToキャンペーンを見直すべきとの意見も出ていますが、観光立村の白川村としては、経済を止めるのも難しく、大変きびしい状況であります。最悪の状況を想定した場合、村としての対応は絶対に必要と考えます。村民を守る観点でどの様な状況になった時に、どの様なレベル・ラインを引いているのかお聞かせ下さい。

A 白川村新型インフルエンザ等の対策行動計画に基づき、感染症対策を講じています。レベル・ラインは、村内で感染者が出た場合と蔓延した場合の2つに分けられます。対策としては、医療体制の維持、健康被害の抑制・生活と経済への影響を最小限に抑える行動となります。様々な事案を速やかに協議・実施し、学校・保育園を含めた使用制限の休止、休業要請による感染防止の徹底、最悪の場合のロックダウン等、対策本部にて十分に協議し対応するよう努めます。

(答弁者:岩本総務課長)



ふるさと納税で村民サービスの充実を!

大田 忠広 議員

Q ふるさと納税について

A 全国のふるさと納税に埋もれないように取組みます!

Q 令和2年度のふるさと納税は、先の補正予算で増額補正されましたが、3,000万円を超え、昨年度と比べ非常に多くの寄付をいただいております。ふるさと納税については何度か質問をさせていただきましたが、積極的な取組みをしていただいた結果だと感謝しております。補正予算の審議においても担当課長から説明をいただいたところですが、予算書上では寄付金の動きが分かりにくい事と村民へ広く周知する必要もあると考えます。

現時点での本年度の寄付額に関わる経費を差し引いた寄付額と、目的別の寄付額、寄付金が予算上どの科目へ配当されているか教えてください。又、現在の返礼品と今後の取組みと展望についてもお聞かせください。

A 12月9日現在1,272件で3,270万円の寄付をいただきました。そのうち、経費につきましては、11月と12月の支払が完了していませんので、10月分までの割合で計算しますと、総額の34%で1,113万円になる見込みです。ふるさと納税の制度上、必要経費が50%を超えることが出来ないのですが、村の経費率が34%と低い理由としまして、返礼品を求めない100万円以上の高額な一般寄付金が3件あることによって、経費率を下げていることが主な要因です。又、目的別の寄付額は教育に358件で831万円、地域振興に251件で721万円、福祉に119件で318万円、移住定住に46件で752万円、全般事業に498件で1,327万円となっております。各事業への配分状況につきましては、年度末の3月補正時に財政課と協議し、各事業に対し充当作業を行います。返礼品の状況ですが、現在160品を各ポータルサイトに掲載しています。村内產品は全体の58%で92品。村外產品は42%で68品です。人気の返礼品は1位が飛騨牛で全体の58%、2位が絹石鹼で全体の17%、3位が古代米で全体の9%となっています。

今後の取組みと展望につきましては、今年度の寄付額が大幅に増加したことにより、現在取組んでいただいている事業者の皆さんの意欲が格段に向上いたしました。次年度も引き続き事業者の皆さんの意欲向上を促す事を目的に、寄付者側の生の声を事業者に届ける「白川村レビュー キャンペーン」を実施し、返礼品について正直な感想などを反映させ新しい商品の開発や振り返りを実施します。又、既に返礼品として掲載しております大田ファームのコシヒカリについて「米・食味分析鑑定コンクール国際大会 金賞受賞」の冠をつけ、より注目を集めることを講じるほか、結旨豚などの返礼品を掲載し、全国の自治体の中に埋もれない取組みを実施します。最後に議員よりご指摘いただきました村民に対する周知につきましては、基本的には毎月の「広報しらかわ」にて周知・報告させていただいているので、今後も継続させ、寄付の詳細が分かるよう掲載させていただきます。

(答弁者:成原観光振興課長)

12月行事結果

日	曜日	行 事
2	水	岐阜県町村議会議長会理事会・ 評議員会 <small>出席者 議長</small>
3	木	莊川産廃処理建設予定地視察 <small>出席者 全員</small>
8	火	定例会(初日) スキーフェスティバル <small>出席者 全員</small> <small>出席者 全員</small>
9	水	学校訪問 <small>出席者 全員</small>
10	木	総務産業常任委員会 議員懇談会 <small>出席者 全員</small> <small>出席者 全員</small>
14	月	議会定例会(最終日) <small>出席者 副議長</small>
17	木	知事との意見交換会 <small>出席者 議長</small>
22	火	議員懇談会 子供議会開催 広報委員会 <small>出席者 議長</small> <small>出席者 議長</small> <small>出席者 大田、高桑、宮部、坂本議員</small>
24	木	例月出納検査 <small>出席者 大田議員</small>

新型コロナウイルス感染症対応「地方創生臨時交付金」について



森崎 敏克 議員

Q 村の地方創生臨時交付金の総額は？

A 対象事業費は総額4億2,000万円、うち国の交付金は1億1,600万円です

Q 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策に対応するものとして、地方公共団体が地域の実情に応じてきめ細やかに必要な事業を実施できるよう、地方公共団体が作成した新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施計画に基づく事業費に対し国が交付金を交付し、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活支援、家賃支援を含む事業継続や雇用維持等への対応、新しい生活様式を踏まえた地域経済の活性化等への対応を通じた地方創生を図ることを目的としています。

当然、白川村においても、実施計画書を国に提出し、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の交付を受けていることと思います。白川村の新型コロナウイルス感染症対策の事業は数々ありますが、その中で交付金の対象事業はどれなのか。また、交付金の総額はどれくらいなのか財政課長にお聞きします。

A 地方創生臨時交付金は、各自治体がそれぞれの発想でそれぞれの自治体にあったコロナウイルス感染症対策をしなさいというの

がこの交付金の目的であると認識していますが、村の実施計画は各課で行った事業を取りまとめて作成しました。実施計画は、4つの目的別事業「経済対策事業・教育対策事業・防疫対策事業・観光対策事業」を設定し、12の事業から作成しています。その対象事業費の総額は、4億2,166万1千円で、そのうち交付金の総額は、1億1,597万2千円です。参考までに現予算では、コロナ対策の財源不足を補うため、財政調整基金を1億5,000万円程度取崩す予定でしたが、前年度繰越金及びコロナの影響で取りやめとなった事業費を充てることで、取崩し額が600万円程度で済んでいる状況です。

また、この実施計画に載せていない対策事業も各課で数多く行っています。国は、白川村への対策事業に対する配分を上限1億1,600万円と定めており、岐阜県へ通知されましたが、今回の配分は、それぞれの市町村の人口と財政力指数を根拠に算出されたものです。村としましては、観光入込に対するコロナ対策の配分が加味されていないことに不満があり、それぞれの市町村の実情を踏まえた配分を今後考えていただけるよう、県を通じて総務省へもお伝えしましたのでよろしくお願いします。

(答弁者：水野財政課長、成原村長)

村へ「提言書」を提出

12月22日(火)、村議会から村長へ「提言書」を手渡しました。今回の提言は村民ふれあい懇談会をはじめ村民からいただいた意見を取り入れ、次の3項目について提言いたしました。

- 1 白川・平瀬保育園の運営について
- 2 白川郷学園の今と今後の取組について
- 3 白川村民の生涯教育について



令和2年 ～SDGs元年・白川郷学園9年生の模擬議会～

12月22日（火）学園9年生と議員による模擬議会を開催しました。この取組みは今年で2回目。生徒ら執行部局が提案する内容について、議員と交わした会議の記録をお伝えします。



村長
和田 美柚



教育長（教育委員会）
高島 弥子 阿武依里佳 木下 歩紀



村民課
和田 汐寿 大澤 果桜 田口 茉菜



観光振興課（産業）
山口 夏海

（観光）
神田 栄貴 沢田 遙也

村づくり課
杉垣凜太朗 松下 玲翔



基盤整備課
堅田 結愛 大谷 梓 熊谷みどり



議長

只今から、会議を始めます。「白川村民の生活習慣病予防の為の減塩への意識改革」について、担当の説明を求めます。村民課長



村民課



上院議員

土地ならではの保存食としての文化もあり、村でも現在に至るまで政策を実行してきたが、更なるキャンペーンの一押しはあるのか？



村民課



衆院議員

これまでには、講演会的なものが多くったと思います。私たちは、減塩効果を実感してもらう為に、村民への給食実食会を開催したいと考えています。

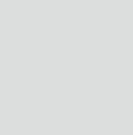
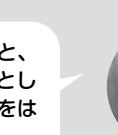


村民課



議長

特に質問者の2名の議員は飲みすぎにご注意頂きたいと願います。次に、「将来の村の為に合掌以外の魅力を作る」事業について、担当課の説明を求めます。観光振興課長。



村民課

村の問題点として、人口減少や観光消費額の少なさ等を踏まえると、歳入の不足が心配されます。そこで、観光面からのアプローチとして、どぶろく祭りや除雪、農作業、自然を活かしたアスレチックをはじめとした体験型観光の推進を提案します。



観光振興課（観光）



坂本議員

体験型の発想は賛同出来るが、生活での実体験は移住政策においてマイナスとならないか？



観光振興課（観光）

体験には一工夫したい。私は、あえて困難を体験して頂いた方が、眞の移住に繋がると思います。



森崎議員

合掌以外の観光資源として、大白川のキャンプ場等をはじめとした大自然パノラマを活かした体験やアスレチックがあってもよいのでは？



観光振興課（観光）

少し勉強不足でした。良いお話を頂いたので早速検討をしたいと思います。



議長

次に、「SDGsの視点を持った人材を育てる」事業について、担当課の説明を求めます。教育委員会教育長。



教育委員会



大田議員

グローバルという世界観とローカルという地域観。この二つを合わせ「グローカル」な視点で活躍出来る人材を育てたいと考えます。認知度においても日本は世界の中で大きく後れを取っており、SDGsキャンプをトヨタ白川郷自然学校と行ったり、外国の学生とオンラインでの意見交流、子供が地域の寄合に参加して村の実情を学び、世界と自分を繋げるような環境作りに取り組みたいと考えます。



教育委員会



教育委員会



非常に幅の広い政策にも受け取れるが、その他にも政策はあるのか？



大田議員

学園の授業にも取り入れたいと考えます。また、生涯教育においても重要テーマとして推進したいです。



教育委員会



えっ！こんなに。
とても期待しております。



大田議員

白川村と世界を繋げる教育とは？



教育委員会



先程説明したオンライン交流を実施したい。温室効果ガス排出に関する意識でも大きな差があるので、自身の立ち位置を知ることが出来ると思います。



高桑議員

SDGsキャンプ大賛成です。その中で、学園生には更なる学習が必要となりますか大丈夫なのか？また、寄合のない地域もあるがどうするのか？



教育委員会



高桑議員

学習での両立は可能です。むしろ一緒に考える事で認識に深みを与えると考えます。また、寄合があるのがベストですが、無い場合は地域と相談して話す場を設けていただいたり、広報等の活用を図りたいと考えます。



教育委員会



SDGs達成度ランキング2位のスウェーデンは、国家として「次世代に良い環境を残す」という世代間目標で、様々な取り組みをしているが、白川村の大人を引き付ける為にどんな政策が必要と考えますか？



教育委員会



先程の村民課の事業である減塩努力や清掃活動に対してポイント発行して、暮らしに楽しみを与えたいと考えます。



教育委員会



9年生の議会提案活動



高桑議員

同じくランキング1位のデンマークには「ヒュッゲ」と言う独特的の考え方があり、家族や友人との時間、自然とのふれあい、見栄を張らず無駄なものがない生活を大切にされていると聞きます。今の白川村においてどの部分から着手するのが良いと思いますか？



講長

見栄を張らないという心が重要と考えます。見栄を張るが為に家族との時間が減られたり、ストレスや焦りを生んでしまうと考えます。



教育委員会

次に、「白川村の空き家を減らす。移住者を増やす」について、担当課の説明を求めます。村づくり課長。



上手議員

移住定住に視点を絞り検討した結果、地域の人との交流の場の設置と事務の簡略化が必要と考え不動産事業の誘致を提案します。



村づくり課

空き家を作らないという前提で、村民が帰って来るのがベストと考えるが？また、現在ある様々な行事も足かせになっていると思うが？



村づくり課

リターンはベストだが、移住者に対するイメージも含めて、村民一人ひとりの意識改革が必要と考えます。行事等については、体験型観光の中へ組み込んでもらい対応したいです。



森崎議員

白川村には、ホワイエという会社が移住定住の窓口をしてくれているので、不動産屋の誘致はあまり必要性を感じない。最大の課題は、住みやすい環境づくりをどうするか？



村づくり課



森崎議員

お互いに話し合う機会ができるように窓口を開設したい。双方に安心を与えると考えます。

その通りだと思う。移住者の地域へ溶け込む手段、会話の機会は重要に思う。



講長

次に、「アイディア料理HPとオンライン販売による活性化」について、担当課の説明を求めます。観光振興課長。



観光振興課（産業）



大田議員

コロナ禍での経済低迷の解決に向けて、特产品的のオンラインでの期間限定販売や調理法等を紹介したHPの開設をして経済活性化の起爆剤としたいと考え提案します。



観光振興課（産業）

期間限定の時期とクラウドファンディングの目標額は？



大田議員

コロナ禍の収束状況も見ながら、3年程度を考えています。クラウドファンディングの募集金額については、検討した上で改めて提案したいと考えています。



坂本議員

白川村にも宝と呼べる食材がある。村の活力になるよう尽力頂きたい。

期間限定と言えど、税の公平性を考慮した場合に心配するのが、一部の人に対しても恩恵に傾かないか？と言う点を心配するがどう考えますか？

議長

不公平感は多少あったとしても、経済を早く立て直すことで大きな成果に繋げて村を活性化させるのが重要だと思います。

観光振興課（産業）

次に、「山の老朽化を防ぐ為に、伐採した木の活用と植樹」について、担当課の説明を求めます。基盤整備課長。

基盤整備課

適正な樹齢で構成された森を育成するため、伐採と植樹を行っていきたい。伐採した木材は、ミニチュア合掌等の商品化を行う。また、利用価値の高いナラは薪に利用。100年先の豊かさを描き私たちから始めたいと考えます。

宮部議員

森林は、白川村に不可欠であり、森の維持に関わる植樹は大賛成です。また、商品化を考えるミニチュア合掌の素材となる原木は？

村の木であるブナを使いたいと思います。

高桑議員

白川村の森林の多くは急斜面であり、土砂災害防止の観点から里山利用が適していると感じるし、先程の教育委員会の進めるSDGsの方針にも合致するのではないかでしょうか？ そうした中で、これらは世代を超えて繋げる事業に感じますが、推進する為に何が一番必要となるか担当の意見をお聞かせ下さい。

基盤整備課

村民皆さんに知識と興味を持っていただけるよう取り組む事だと考えます。

高桑議員

最後に、和田村長から今回の提言に対してのお言葉をお願いします。

村長

今日の為に9年生一丸となって一生懸命考えました。どれか一つでもいいです。議員さんを通じて一つ実現して欲しいと願います。よろしくお願いします。

これで、本日の模擬議会を終了します。ありがとうございました。

議長

模擬議会の中で未来の自分へ一言いいただきました

～20歳の自分への伝言～

充実した毎日ですか？自分の得意な事、好きな事を続けてください！ 和田 美柚	保育士の夢叶いましたか？「努力しろ自分」 和田 汐寿	14歳の私には沢山の夢がある。「叶えろ自分」 大澤 果桜	これまで挑戦していますか？これからも挑戦しよう。 田口 茉菜	どんな仕事をしていても個性や可能性を発揮しよう。 沢田 遥也
迷つたら15歳の私を思い出して。個性と可能性、村民に誇れる生き方をしよう！ 高島 弥子	今は楽しいですか？個性を大切に私らしく楽しもう。 阿武依里佳	自分らしさを出しているか？自分らしく学習しよう！ 木下 歩紀	白川村に貢献出来るように頑張ろう！ 杉垣凜太郎	今、自分が頑張れることをしっかり頑張ろう。 松下 玲翔
今、楽しいですか？やりたいことを進んで挑戦しよう。 山口 夏海	これからも素晴らしい白川村を担っていこう。 神田 栄貴	今は幸せかな？6歳からの想い保育士になれたかな？ 堅田 結愛	めんどくさがらず、流されず、夢に向かって努力だ自分！ 大谷 梓	あの頃の夢叶ったかな。充実した生活送ってください！ 熊谷みどり

10年後の自分へ(第2回) ～わが子から学んだこと～

みなさん、こんにちは。今回お話しする事は、私の3人の子供を育ててきた経験をもとに伝えます。学園生の皆さんには、学園を卒業してからの先の世界を具体的に考えた事がありますか？きっと一般的には、「この高校へ行って、どこか都会の大学に入れたらいいなあ」くらいに思っている人が多いんじゃないかな？私は、その次の世界をもっと思い描いて欲しいと願います。次の世界って？そう社会人の世界です。将来、何をしてみたいかな？自分に問いかけて欲しいな？って思います。ある日子供が、「将来、醤油の研究をして世に新しいものを届けたい。」私は、大手醤油メーカーの新卒採用のページを検索。そこには研究者の募集は若干名、4年大学および大学院で関連する研究をした者。とか書いてありました。発酵食品を学ぶ学科でしたが、短期大学だった為に志願自体が出来ず希望を絶たれてしまいました。地方の醸造会社は身内採用が多いのか、それとも必要ないのか当時は募集すらありませんでした。ここでの大きな過ちは、「発酵食品について学びたい」までは良かったけれど、学んでから何処へ行くが明確になっておらず、業界の求人情報からも分かるように、自分自身が必要とされるスキルを身に着けられなかつたことでしょうか？もし、高校2年生の時にそれに気づけたとして、4年生大学に合格していたとしても困難を極めていたかもしれません。採用若干名の枠に全国の希望する卒業生が集まるんですから。エントリーシートという受付の段階で、偏差値の低い大学は弾かれてしまう事が多いようです。そして、就活は単に頭が良いだけでは内定がもらえません。会社が必要とする様々な観点から、数度の面接を経て内定者が決まります。世界で、東京で、地方で。活躍の場の違いは求められるスキルも違うかもしれません。自分のやりたい仕事が出来るのは、何処のどんな会社なのか？その会社には、何処の学校から入社している人が多いのか？そうすれば、自ずと目指すべき学校が定まってくるのではないでしょうか？現在の自分の学力に合わせ学校を選ぶより、社会人というひとつつのゴールから学校探しをすると言う方法も、心の片隅に置いてもらえると嬉しいです。私も、もう少し議員として料理人としてあがいてみたいと思っています。学園生の皆さんも自分探しにあがいてみて下さいね。来春が実り多き年となりますよう祈っております。（高桑 徹司）

第5回総務産業常任委員会

村内の視察を実施しました

11月5日(木)、総務産業常任委員会による村内視察が行われ、令和2年度までに行われた事業や、今後の事業予定地等を見て回り、担当者へ説明を求めました。



大白川源泉視察

・大白川の源泉及び周辺施設の改修整備

・平瀬1号線及び、2号線の整備事業

源泉の状況及び避難小屋等の改修整備状況を確認しました。 村道の舗装、消雪整備及び、新規路線の整備箇所を確認しました。

その他に、指定管理施設である平瀬キャンプサイトの状況、中島グラウンドの施設改修、ホワイトロードの展望デッキ整備事業を視察し、進捗状況や今後の事業整備、施設管理のあり方について協議しました。

議会探検隊募集 (議会傍聴です)

議会議員が心より皆様をお待ちしております。
一般質問で戦う私たちを、応援して下さい。

日時 令和3年3月定例会 一般質問日 定員 先着5名程度

(開催予定 3月上旬 ※決まりましたら、早めにお知らせします。)

締切 催日の午前10時までです。

申込先 白川村議会事務局または、総務課まで

声は
出せませんが



編集後記

明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症が第3波により、日本国内では蔓延拡大でライトアップも中止。「GO TO キャンペーン」も一時中止。観光関連業者にとっては大変厳しい年末年始を迎える事になってしまいました。岐阜県では12月16日現在、感染者が出でていないのは白川村のみとなりました。村民皆様のより一層の感染対策をお願いいたします。
日々願う事は、一刻も早い終息の事ばかりです。

(大田 忠広)